

振興会だより よしだ

2018年(平成30年)
9月22日発行
第43号
吉田地区振興会

観て・食べて・踊って大感激!!

「第35回一心祭り」開催

7月21日(土)吉田運動公園で町内の4つの振興会の共催による「第35回一心祭り」が盛大に開催されました。今年も、町内の保育所・幼稚園の園児をはじめ小学校児童・文化や音楽グ



武者絵巻

ループなど約400名のステージ発表と、恒例の武者絵巻40数名・一心節踊り約250名、また会場係やバザー・警備などのスタッフが約210名などなど、掛け持ちの役割もあるかと思えますが延べで1000人近い人が係わりをもつて祭りを盛り上げたことになり、「みんなで参加・みんなで盛り上げ」の手作りの楽しい祭りとなりました。

また、一心節踊りには安芸高田市が推進している「多文化共生」に係る取り組みとして、海外から吉田町内へ就労してられる企業や日本語教室のご協力をいただき25名の外国人の方が練習を重ねて参加され、たつぷりと日本の文化を味わっていた



一心節踊り

だけ交流も図られたものと思えます。祭りのメインの武者絵巻は、今年は大阪市・神戸市などから武者として6名の参加もあり、勇壮な中にも幻覚的な絵巻となりました。

そして最後は締めくくりに打ち上げ花火。花火は小さいものの、頭上で炸裂する花火には他に類のない迫力が味わえるもので、多くの方に楽しんでいただけたものと思います。

来年も更に趣向を凝らした楽しい祭りになりたいと思っておりますので沢山の方のご協力をお願い致します。

子どもたちのダンス



吉田地区振興会のバザー

します。
最後になりましたが、実行委員のみなさま連日に亘るご協力誠に有難うございました。

敬老の日 おめでとうございます



吉田地区敬老会

9月9日(日)午前10時から市民文化センターに於いて吉田地区敬老会を開催しました。今年も242名という多くの方にご出席を頂き終始楽しい雰囲気の中、ステージ発表や会食など思い出の一日となったことと思います。

また、開会行事では浜田市長をはじめ10名の方にご来席をいただき、花を添えていただきました。そして、会場で最高齢者の柳原地区 村川セキノ(99歳)さんが代表で記念品を受取られ、敬老者1年生の川向 小川博昭さんがお礼のあいさつをされました。

最後になりましたが、敬老会実行委員のみなさま、ステージ発表の皆様ご協力誠に有難うございました。

「敬老会」に初参加して!!

私は、今年7月に75才を迎え初めて、吉田地区敬老会に参加しました。

今年の敬老会出席の対象者(75才以上)は639名で、そのうち約4割の242名の方が出席されました。

出し物は、「吉小ソーラン」から始まり、最後に、安芸高田市伝統芸能である神楽「滝夜叉姫」を郡山子ども神楽団が演じて、幕を閉じました。敬老会に出席された方々は、小雨降る中、みんな満足そうに家路に急がれました。

私の感想として、出演者の皆さんは日ごろから自分の趣味と健康を考え、楽しく練習に励んでおられると感じました。

また、振興会役員の方々準備から当日の受付、駐車場の整備等大変な労力であったと思われました。大変お世話になりました。

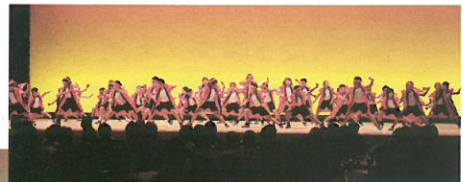
これから少子高齢化がますます進む中で、敬老会対象者が増え敬老会のあり方が問われる時代が、そこまで来ている気がしました。

(小川博昭)



最年長出席者 村川セキノさん

アトラクション



第14回歴史探訪 御手洗町並み保存地区巡り

6月3日、呉方面へ歴史探訪に総勢77名で大型バス2台に分乗して実施しました。当日の行程は午前中は呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、海上自衛隊資料館（てつのくしら館）、千福三宅酒造、日招きの里で昼食をすませて、昼食後は、御手洗街並み史跡に移動しました。

大和ミュージアムでは、参加者のお父様が戦艦大和で戦死されたという話を聞き揭示してある名前や写真をみて、あらため



ボランティアガイドさんによる
御手洗街並み案内



みたらい散策絵図

て戦争の残酷さと、現在の平和のありがたさを再認識しました。

御手洗町並み史跡は、今年5月に重要伝統的建造物保存地区を含む5つの遺跡が北前船にゆかりのある「北前船寄港地・船主集落」日本遺産の構成文化財に追加指定されました。到着後3班に分かれて現地ガイドのユーモアを交えた説明を受けながら御手洗天満宮・管公の井戸やパワースポットだといわれる天満宮の下をくぐって、幕末期に長州藩と広島藩が倒幕のための軍事協定（御手洗条約）を結んだという旧金子家住宅、広島藩公認の茶屋であった若胡屋跡、伊能忠敬が大崎下島の測量

をしたとき宿泊した柴屋住宅など見所は沢山ありましたが、残念ながら時間が足りなくて千砂子波止や高灯籠は遠くから眺めるだけとなり、機会をあらためてゆっくり訪ねたいと思うとともに、この地区を重要伝統的建造物保存地区指定までもっていき、現在も保存活動を続けておられる「重伝建を考える会」の皆様の活動に頭が下がりました。
〔担当：文化教育部〕

マリーゴールドの 植栽作業

梅雨に突入した6月19日に今年も吉田高校で育てていただいたマリーゴールドの植栽作業を実施しました。

天気予報で雨の確立が高いと出ましたので、前日に雑草処理・マルチシートの剥がし・耕運・施肥などを有志で済ませました。

当日は最初から小雨が降るような悪コンディションでしたが、参加した13名は手際よく作業を進め、吉田高校の生徒さんの到着を待ちました。



植栽作業の様子

しかし、雨がますます強くなったため生徒さんたちの参加が取りやめとなってしまいました。

私たちは残りの植栽作業を急ピッチで進め、予定より早く終了することができました。

良い天気であれば、若い生徒さんたちといういろいろ話をしながら作業できると楽しみにしていたので本当に残念でした。

参加していただいた皆様お疲れさまでした。マリーゴールドは元気よく咲いていますよ。

〔担当：環境福祉部〕

防災に関する取り組み

6月14日(木)の19時から市民文化センターで、吉田地区振興会では初めての防災に関する連絡会議を開催しました。当日は、15の行政区から27名の方が参加されました。

近年は、全国各地で「何十年に一度の」とか「今までに経験したことのない」など地震・台風・豪雨などの自然災害が多発しています。災害が発生した時には隣近所で助け合う「共助」が大切な命を守る重要な力になると



防災に関する連絡会議の様子

なります。そこで、いかにして「共助」が実現できるか参加者のみなさんで考えてみました。

最初は、それぞれの行政区の自主防災に関する取り組み状況を発表していただきました。

概略は次のとおりです。

① 防災活動とはいうものの、何をどのようにしてよいのか分からない。

② 地域の行事の後、防災講座を実施している。

③ 地域が川と山に囲まれており、豪雨時には危険を感じる。

④ 地区内の連絡網を作成している。

⑤ 福祉施設の防災訓練に地域を挙げて参加している。

⑥ 役員は、月一回寄って防災のことなど協議している。

⑦ 土の積みみやAED・消火器などの訓練を消防署の指導で実施している。

⑧ 一人暮らし高齢者の調査を実施している。

⑨ 何も取り組んでいない。

など、防災に関心のある地域と関心の無い地域があることが分かりました。

そこで、今後の目標として

① 自主防災組織の立上げ。

② 連絡会を組織し、みんなで防災活動について定期的な意見交換。

③ 合同防災訓練や視察の実施。

④ 各地区の危険個所の共有。

⑤ 高齢者や障がい者など要配慮者の情報共有。

などを実施したらどうか、と言うことで第一回目の会議を終了しました。

今後の予定

- 9月30日(日) 第23回吉田地区
グラウンドゴルフ大会
- 11月 まちづくりリーダー研修
- 11月中旬 ボランティアロードの整備
- 11月18日(日) 第21回吉田町グラウンドゴルフ
チャンピオン大会
- 12月1日(土) 友愛訪問

編集後記

なぜか、最近は編集後記に災害のことばかり書いている様な気がする。それだけに、全国各地で次々と大きな災害が発生しているのは事実だ。「何十年に一度の…」から「観測史上はじめての…」「今までに経験したことのない…」にと、災害のたびに表現も色々だ。

西日本豪雨では、安芸高田市も人的被害が発生した。特に向原町で沢山の橋が流されるなど大きな被害となったが、まさかJRの鉄橋が流されるとは夢にも思わなかった。

台風12号・20号・21号、そして北海道の巨大地震など想像を絶する被害となったが、次々と発生する大災害にどのように対処していけばよいのだろうか。

そこで、いざとなった時慌てない為に『自分の命を守る行動』とはどの様にすればよいのか、今のうちに家庭内・地域内で再確認してみてもどうだろうか。

今田 基良